

標記、件其後、状況左ノ通り

一、罷業職工ノ動靜

罷業職工約五十名、引續々争議團本部ニ集合シ、本部ヨリ組合長成沢清外五名を撥シ教化職工ノ結束ニ努メ以テ、アリ一面沈靜セシメ氣勢ヲ昂ケル方策トシテ、演説會ヲ開催シタル外格別ノ行動ナシ、演説會ノ状況

争議團本部價工三一昨二十一日午後八時三十分ヨリ、平塚西戸越六二九争議團本部ニ於テ争議應援演説會ヲ開催セリ、本會者争議團員約五十名東京鐵工組合第一、六、八、十一、十二、十三、各支部及東京組合ヨリ春日支部員等約五十名を招キ、計百八

十名ニシテ、小松原光太郎演説會ヲ宣シ、次々東京鐵工大崎支部聯合會藤原伊之助外十三名ノ演説アリタルハ、内九名ノ論旨ハ矯激ニ亘リタルヲ以テ、臨監警察官ニ於テ中止ヲ命ジタルハ、其際、東京合同日暮里支部有川博、東京鐵工組合第一支部佐藤藤七ノ兩名ハ、林士中止ノ方毎ニ不徳ノ言動ニ出スルヲ以テ、所轄大崎警察署ニ一時檢束シテ、午後九時四十分閉會セリ

二、會社側ノ態度

會社ハ其後臨時職工ヲ職員ニ現在日本人十二名、支那人八名、朝鮮人十九名合計三十九名ヲ使用シ、作業ヲ繼續シ、ハアリテ社長ハ如何ナル犠牲ヲ拂フモ